

議会だより

News Letter From Hachijo Town Assembly

 八丈町

No.197

2021.3.25 発行

議会だよりは八丈町のホームページでもご覧いただけます

<http://www.town.hachijo.tokyo.jp/kakuka/gikai/gikaidayori.html>



おさかな研究会のみなさん

八丈島漁業協同組合女性部
「おさかな研究会」

島のお魚を広めたい！



出前授業でコロッケづくり

八丈島漁業協同組合女性部で組織した「おさかな研究会」では、ムロアジやトビウオなどを中心に、誰もが食べやすい加工品の開発に取り組んできました。島内外の学校への出前授業や底土船客待合所で月に1度の朝市は大変好評で、売上も順調に伸びていました。しかし、コロナ禍の影響で島外のレストランをはじめとした出荷量が減り、朝市もお休みを余儀なくされています。また昨春は春トビの漁獲量が激減してしまったことも大きな痛手でした。今後の課題は若手のスタッフの新規雇用と育成です。八丈島の漁業を支え、未来に繋ぐために、ぜひとも若い方に参加してほしいと願っています。取材者・岩崎由美

食育月間でお忙しい中、事務局長の奥山喜久江さんにお電話でお話を伺いました。

CONTENTS

平成最後の決算とコロナ対策

- 2P 第4回定例会
- 3P 一般質問
- 9P 質疑より
- 10P 町民の声



ムロアジがあっという間に…

第4回定例会

令和2年12月10、11日

平成最後の決算とコロナ対策

12月議会は、平成最後となる31年度の一般会計・特別会計の決算認定と令和2年度の補正予算の審議が行われました。

令和2年度はコロナの影響で様々な事業が中止になっているため、コロナ前の最後の決算です。「特定有人国境離島地域社会維持推進交付金」により島民の航空運賃の低廉化が行われ、国民健康保険は、財政運営の責任主体が町から都道府県に変更されました。火事の際、力を発揮する消防団の設備や備品が整備され、消防本部の人員も増えました。町の収入の多くは補助金や交付金ですが、町営住宅の家賃や各種利用料の徴収率は上がりました。

全体の予算は約100億円で、前年度繰越金を入れた決算は黒字ですが、単年度決算では3300万円の赤字で、厳しい財政状況でした。しかし、公債費（※借入金）総額は前年度より減り、積立金は増えており、総合するとおおむね良好でした。

今後、新クリーンセンター建設等の公共施設

の建設や水道管の老朽化対策、一般会計から他会計の赤字補てんのための繰り出しなど、厳しい状況は続くと報告されました。

令和2年度の補正予算は、コロナの影響で減った事業の実績に伴う減額予算や、台風災害の復旧のための予算が上程されました。今年は大きな台風は一度でしたが、長引く大雨で多くの土砂災害が発生し、その復旧作業や自主避難所の開設のため多額の費用が発生し、すべて承認されました。災害発生時は、専決処分（急を要するため先に工事を行い、のちに議会の承認を得る手続き）で復旧作業が行われています。

コロナ対策としては、病院のスタッフに支払う特別手当の予算が計上され、島内のコロナの患者を看護する町立病院のスタッフに些少でも手当が支払われることが確認されました。

すでに決まっている経済対策は、現在コロナで人の動きが少ないため、年度を繰り越し効果が期待される時期に行うことも確認されました。
(沖山恵子)

主な議決事項

11月臨時会

令和2年11月25日開催

- ◎ 専決処分事項の報告及び承認について（令和2年度八丈町一般会計補正予算）ほか専決処分1件
- ◎ 令和2年度八丈町一般会計補正予算
- ◎ 職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
- ◎ 令和2年度農地防災事業柵立登立水路改修工事請負契約

12月定例会

令和2年12月10、11日開催

- ◎ 令和2年度八丈町一般会計補正予算ほか補正予算6件
- ◎ 八丈町分担金その他収入金の督促及び滞納処分に関する条例の一部を改正する条例ほか条例8件
- ◎ 平成31年度八丈町一般会計決算認定についてほか決算認定4件

- ◎ 令和2年度八丈町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（平成31年度分）について
- ◎ 議員の派遣承認について（フリージアまつり表敬訪問）

1月臨時会

令和3年1月20日開催

- ◎ 損害賠償の額の決定について 2件
- ◎ 八重根南原線道路改良工事請負契約の変更
- ◎ 新八丈町クリーンセンター敷地造成工事請負契約
- ◎ 新八丈町クリーンセンター建設工事請負契約

主な会議

議会運営委員会

令和2年12月3日開催

- ◎ 令和2年度第四回八丈町議会定例会について

一般質問

12月10日

質問者9人

12月定例会では、町政全般へ9名の議員が18項目にわたる一般質問を行いました。掲載した原稿については、質問議員が作成しています。なお、紙面の都合上、質問内容、回答ともに要約したものととなっておりますので、ご了承ください。

質問の録画映像はインターネットでもご覧いただけます。

<http://www.town.hachijo.tokyo.jp/kakuka/gikai/movie/movie304.html>

氏名	質問項目
宮崎陽子	地方自治法第2条第14項住民の福祉の増進に努めるとともに最少の経費で最大の効果を上げるようにしなければならない義務規定について 特別支援教育の充実と将来の就職先について
浅沼隆章	水道事業について タブレットについて
山本忠志	三原小中学校体育館にエアコンの設置を 八丈をノーマライゼーションの町に
金川孝幸	人口減少に伴う地区再編の取り組みについて 町への苦情や要望の対応について
奥山幸子	八丈島の戦跡保存に町はどのように取り組むか 特別支援学級を進めるにあたり町の対策は
沖山恵子	イベント以外の通年の観光対策はなにか 修学旅行は実施されたか
岩崎由美	アシジロヒラフシアリの駆除対策の現状は クリーンアイランド構想の推進を
山下巧	伐採木の有効利用について 温泉スタンド設置条例施行規則について
山下則子	コロナ禍の温泉施設における感染症予防対策について 新型コロナウイルス感染症に対する町の考えは



宮崎陽子議員

所要時間 17分

地方自治法第2条第14項住民の福祉の増進に努めるとともに最少の経費で最大の効果を上げるようにしなければならない義務規定について法的観点から質問する

問 コストと成果を説明する資料をもとに、今後新たに必要な重要事業に予算配分を行い、財政運営上の課題解決のためにも議会で適切に説明した資料を準備していただくこと

について見解を求める。

答 企画財政課長 決算認定では事業ごとの説明はしていないが、資料に基づいて審議いただいている。資料内容についてご提案いただき、議員の皆様と相談しながら改善していく。

八丈島における特別支援教育の充実と将来の就職先について

問 八丈島初、令和3年から3年間の特別支援学校分教室は、東京都のモデル事業であり、将来的なスケジュールがまだ構築されていないという点から、共に学ぶという「インクルーシブ教育」を視野に入れ、共生社会を目指して尊重し合いながら、共同生活を育む環境が求められている。就職に関する進路指導

も、島内の団体や企業等との連携を整えていくことが重要。島での活躍の場を町としても支援し、誰一人取り残さない共生社会の実現を目指していかなければならない。将来に向けて計画的に特別支援教育の体制を八丈町として構築していくために将来ビジョンを含め八丈町からの今後の見解を問う。

答 教育課長 町教育委員会としては、小中学校の特別支援教室に通う生徒や保護者のニーズを把握して連携体制を密にとり、八丈高校の生徒との交流を深め、分教室で学んだ生徒達の自立と社会参加、事業継続化に向けてモデル事業の成果をあげられるように努めていきたい。

答 町長 障害のある人もない人も住み慣れた八丈町で安心して生きていけることが基本的にある。八丈高校、東京都の理解を得、設置されたこの分教室を3年の間に育て、将来は雇用に結びつけられるよう、地域住民、議会と連携して、真剣に取り組んでいきたい。皆様のご協力をお願いしたい。



浅沼隆章 議員

所要時間 19分

水道事業について

問 耐用年数を超過した水道管の整備は島全体で何%完了し、未整備の水道管は何kmか、また整備費用の概算は。

答 企業課長 令和元年度末で耐用年数を超過した水道管は、全体の25.7%になり、未整備の水道管は59kmで整備費用の概算は49億円程になる。

問 水道管工事の影響による断水が頻発している原因は。

答 水道管の切り替え作業や、工事の際に誤って破損する場合もある。

問 大川浄水場の改修造成事業も計画的に進められていると思うが、進捗状況は。

答 令和2~3年度で用地造成、令和3~4年度で施設建設の計画である。

問 水道事業の健全経営化を実現するための料金改定の案や水道使用量を増やす具体的な

施策は。

答 水道料金は平成22年度に値上げしているが、平成28年度から収入が値上げ前の実績を下回っている状況。平成29年度に策定したアセットマネジメントでは、26%の値上げで40年間財源が確保できる試算が出ているが、消費税の増税や島内の経済状況を踏まえると、経費削減、財源の見直しを先に進める考え。水道使用量を増やす案については、企業誘致は有力なものとなる。

タブレットについて

問 小中学校ではどのような型式のタブレットを導入したのか、また選定した理由は。

答 教育課長 グーグル社のクロームOSを搭載したクロームブックを導入した。選定理由は起動の速さ、操作の簡便性、端末のソフトの更新・管理・メンテナンスが一括容易に行え、学校以外での学習が可能であるため。

問 配置状況は。

答 10月末に全ての小中学校へ配備

問 タブレットを用いた授業や活用の例は。

答 オンラインホームルームを行ったり、修学旅行で見学場所のルートを作成した学校もある。

問 利用に伴い具体的にどのような課題が出てきているか。

答 この端末の機能を十分に活用できる教員の育成。

問 今後リモートでの授業も視野に入れた活用を考えるべきだが、改めて町の方針を。

答 短期的には自宅学習体制の整備、学校と家庭間の連絡体制の強化。中長期的にはソサエティ5.0時代の到来に備え、八丈町の教育大綱の充実。



山本忠志 議員

所要時間 20分

三原小中学校体育館にエアコンの設置を

問 三原小中学校体育館は教育施設としての機能のほかに、檜立・中之郷地区住民の一次

避難所として大きな役割を担っている。今後、スピード感をもってエアコンを設置すべきと考えるが、町の考えを問う。

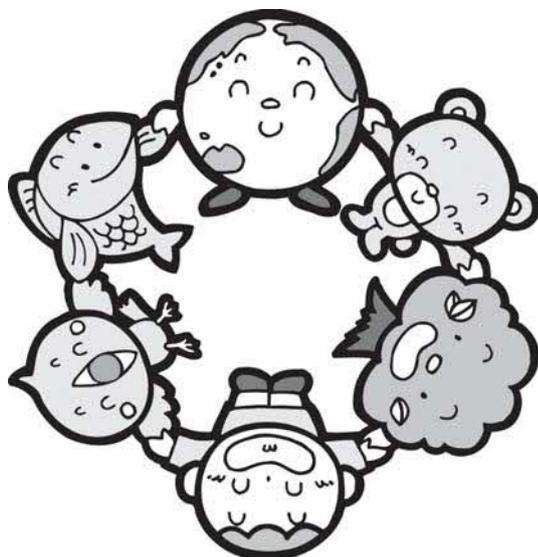
答 教育課長 八丈町立小中学校体育館の空調設備については、既に今年度設計に入っており、令和3年度に補助金申請、同4年度、5年度から着工、使用開始という予定で進めている。

八丈をノーマライゼーションの町に

問 本年9月18日(金)、小池都知事は、都立特別支援学校高等部の分教室を八丈町に設置する旨の所信を表明された。これは長年にわたる町民の悲願が実現したものであり、島の歴史に残る画期的な出来事と受け止めている。更に、単に特別支援教育改革にとどまらず、八丈町全体をノーマライゼーションに溢れた町にしてごらん下さい、という都知事の願いが込められた決定とも考えられるが、町の考えはいかがか。

答 福祉健康課長 町では、八丈町地域福祉計画を推進するにあたり、平成30年度に「はちじょうheartプラン」を策定した。これは、障がい者支援のみならず、子ども・子育て支援、次世代育成支援、高齢者・介護保険などの計画であり、これに沿って、全ての人々が安心して生活できる町づくりを目指したい。

答 町長 障がいの有無にかかわらず、小中学校と同様に高校でも一緒に学びたい、という子ども達の切実な願いを叶えたい。ま



た、生徒の個性・特性を生かすとともに卒業後の進路についても指導・支援体制を整え、二本立てで取り組んでいきたい。



金川 孝幸 議員

所要時間 14分

人口減少に伴う地区再編の取り組みについて

問 振興委員のなり手不足の地区もあり80歳を超えてやっている方もいる。世帯の増えた地区では、地区の分割や新設により人口は減っている反面、地区は増えている。災害時の地区での助け合いに不安を感じる。

コミュニティ強化のために新たな町内会制度や地区の在り方など見直す時期ではないかと思うが町の考えを伺いたい。

答 総務課長 振興委員の業務内容の見直しを含め町内会制度など関係者の皆様の意見を聞き今後の課題としたい。

町への苦情や要望の対応について

問 まだ議員になって1年しか経っていないが、町民から苦情や要望が来る。内容は様々で、話をよく聞き、現場を確認して必要がある場合は、担当部署に連絡して対応を求めている。適切に対応しても、どのように対応したのか町から連絡を受けたことはない。町道の通学路の除草をお願いしても、「1年経てば同じ状況であり、諦めた」との声も聞こえ再発防止に繋がっていない。苦情や要望をどのように扱い管理しているのか、町の対応を聞きたい。

答 企画財政課長 企画財政課で担当しているが全て把握できていない。正式に寄せられたものについては対応し回答している。口頭でのものについては内容をメモし関係部署に連絡し情報を共有している。

問 毎月の広報にご意見などの受付窓口を掲載しているのは承知しているが、年間何件の意見が寄せられているのか知りたい。

答 年間で3件。



奥山幸子 議員

所要時間 38分

八丈島の戦跡保存に町はどのように取り組むか

9月議会で、八丈戦跡の記録を残すべきだという趣旨の質問があった。9月の朝日新聞の東京版に、八丈島に残っている戦跡の重要性とそれを保存しようとする記事が載り、戦跡の保存の重要性を再認識した。今年は戦後75年の節目にあたり、この時期を逸してしまうと戦跡保存の機会を失ってしまうのではないかと危惧している。

問 平和教育としての戦史・戦跡を継承する意義をどう考えるか。

答 教育課長 平和教育の重要性を認識し、小中学校では現在も授業を行っているが、戦争体験者の話も組み入れ、事実を継承する必要がある。

問 ポイントを絞った戦跡の保全は可能か。

答 文化財専門委員会にはかり、所有者の確認と安全性が確保できれば、数か所の戦跡指定は可能と考える。

問 戦跡を保存するための「戦跡ガイド」の養成を進める考えはないか。

答 戦跡ガイドの養成については、戦跡の指定と平行して進めたい。

特別支援学級を進めるにあたり町の対策は

令和3年度4月より、都立青鳥特別支援学校の八丈分教室が八丈高校内に開設されることになった。ひとえに、対象となる生徒の保護者の熱意と町の行動力が実を結んだものと思っている。都の支援学校に準じて教育課程が編成されることになるが、町としてどのような対策を講じているか。

問 分教室の概要をあきらかに

答 教育課長 概要はまだ明らかにされていないが、八高生との交流や就労の指導など、特色ある教育をめざす。「給食」については、できることは協力したい。

問 課題を解決するための方法・対策は。特

化した連絡会の設置を。

答 教育内容の状況を把握できる関係者で、意見交換ができる会を設けたい。

問 雇用・就労に関して、既存の障害者施設との連携をどのように進めるか

答 福祉健康課長 卒業後の就労は大切な課題と考えている。スキルアップの支援をしながら作業所との話し合いは行っている。障がい者施設の利用者は、年々増えているので、施設の増築も視野に対策を考えていく。



沖山恵子 議員

所要時間 21分

イベント以外の通年の観光対策はなにか

問 島のイベントは集客がよいが、少数でも毎日お客様がいた方が観光業者はうれしいと思う。イベント以外の通年の観光対策はなにか。何を売りに集客しようと思うか。また歴史民俗資料館は縮小展示で、ふるさと村は焼失、地熱館も長期休館と発表された。雨の日に観光する場所がないのではないか。

答 産業観光課長 コロナの影響で4月5月の観光客は前年比9割減ったが、10月より団体を中心に回復してきている。豊かな自然を生かした体験活動の他、雨天問わず利用できる八丈の温泉を売りにしたい。みはらしの湯の人気は高く、世界最大規模の旅行クチコミサイトの温泉ランキングでは全国2位に選ばれた。ふるさと村は来年に完成するが、新型コロナウイルスの影響で以前のような接客はできないかもしれない。現在、観光協会では、環境省の補助を受けスポーツ用電動アシスト自転車を使った観光の実証実験や、クジラのモニターツアーを行い、八丈島でしかできない自然を生かした通年楽しめる新たな魅力開発を行っている。

問 いろいろな実験や施策は個人旅行にはよいが、バスで回る団体には、三密を避ける意味でも室内の施設が数多くあった方がよいと思う。以前から地熱館を他の場所で臨時に開館できないかと言っているが、旧末吉小学校

の地質を知る展示室の隣に、地熱館のビデオや島の成り立ちを知る装置を置き、スタッフを配置し、観光客を受け入れられないか。

答 観光バスは景勝地がメインになっているが、雨の日は臨機応変に色々工夫してやっている。

答 企画財政課長 旧末小の利用方法は地域の方と色々協議している。その中で検討していきたい。

修学旅行は実施されたか

問 新型コロナウイルスの影響で延期された小中学校の修学旅行は、無事に実施されたか。

答 教育課長 小中全ての学校で11月中に終了した。



岩崎由美議員

所要時間 28分

アシジロヒラフシアリの駆除対策の現状は

島内で地域差はあるものの、多くの人を悩ませているアシジロヒラフシアリによる家屋への侵入は深刻だ。

問 今年度実施した調査方法、結果と評価は。

答 住民課長 檜立地域において市販のベイト剤（毒餌）を20個×約400世帯、計約8000カ所設置。70%以上の方からアリがよく食べていたと報告されたが、アリの数が減少したと回答した方は20%にとどまった。今回の方法ではよい結果が得られなかった。

問 来年度以降の調査計画は。

答 住民課長 来年5月、7月に再び檜立地域の住民のご協力をいただき、防除試験を実施する予定。

問 ベイト剤による駆除によって、八丈島の在来種やアリの外敵になるような種類も殺している可能性は。

答 今のところはあがっていないが、当然既存の種類がなくなるのは事実。そこを最小限、影響のないようにして実施したい。

クリーンアイランド構想の推進を

深刻な地球温暖化対策に対し、町としてもさらに積極的に取り組むべき。

問 基本条例に鑑みた、地熱発電事業者の地域貢献策の現況は。

答 企画財政課長 オリックスグループのネットワークを活かした情報発信、調査に関連する業務を地域優先に委託、再生可能エネルギーの理解促進の3点。地域の皆さんと協議しながら進めていく。

問 地熱発電が予定通り稼働した場合、温室効果ガスの削減量の概算は。

答 電力中央研究所によると、1kWの電気を1時間発電する際に排出される二酸化炭素量は、石油火力による場合は738gであるのに対して地熱は13g。石油火力を100とすると地熱は1.7の比率になる。

問 八丈町のクリーンアイランド政策については地熱発電にとどまらず、今後様々な取り組みをなすべきと考えるがいかがか。

答 地熱発電は特筆すべき事業だが、修景美化、電気自動車、廃棄物の資源化などクリーンアイランドの取り組みは多岐にわたる。クリーンアイランドの理解促進、関連する事業については着実に実効することが必要。有効な取り組みについても引き続き考えていかなければならない。



山下巧議員

所要時間 18分

伐採木の有効利用について

問 昨年3月議会で伐採樹木の有効利用について質問したが、11月から保管場所を街中に移し、搬入、配布が格段に改善された。しかし今後伐採木を家庭用燃料として活用するためには、直径10cm以上では薪として利用しにくい。現場には直径30~50cmの丸太が大量に残されており、今後家庭用リサイクル燃料として利用を定着させるために、薪割り機などの設置はできないか。

答 建設課長 建設課では八丈支庁と連携し、建設現場から出る伐採木を試行的に有

効利用のための無料配布を行っている。これは産業廃棄物を減らしリサイクルに貢献するもので、大きいサイズの丸太については、短く切断し利用状況を見守っている。薪割り機については、安全管理上設置は困難。今後とも利用促進を検討していく。

温泉スタンド設置条例について

坂下地区での温泉利用について「タンクローリー車による温泉の輸送も含め、坂下の温泉の必要性について、将来を見据え検討したい」との回答を得たが、新たな温泉の掘削やパイプラインは容易ではない。又コロナ禍の中で複数の人数で温泉に入るのを躊躇する方も多いと考えられる。週に1回でも温泉スタンドの温泉を民宿旅館、自宅で利用したい場合の遵守規則について問う。

問 条例施行規則第4条遵守事項の「温泉を利用して営利行為を行わないこと」についての説明を。温泉スタンドからの運搬実費（ガソリン代、手間代）や民宿旅館で観光客に、無料もしくは実費での温泉サービスをした場合、これを営利と見なすのか。

答 福祉健康課長 民宿旅館での温泉サービスは営利行為に当たると判断するが、今までに営利行為は行われていない。また温泉成分が付着することや塩分濃度が高いため一般的な浴槽での使用は難しいと考える。



山下 則子 議員

所要時間 22分

コロナ禍の温泉施設における感染症予防対策について

Go Toキャンペーンが始まり、観光客の方々に島内が活気づき、島内の温泉施設も利用者が多くて感染症が心配との声を聞く。温泉施設の感染防止について対策を問う。

問 利用者がさわるドアノブやかご・ロッカー・ロッカーの鍵等の消毒の方法と頻度は。

答 福祉健康課長 町から消毒方法については具体的な指示はしていないため、各施設によって対応が異なっていた。空いている

ときに噴霧はせずに感染防止にいちばん推奨される拭き取りをお願いした。

問 脱衣所が混雑している時の利用者の会話についての対応は。

答 不要な会話の遠慮や対人距離の維持等の貼り紙をしているが、今後は表現に気をつけたい。

問 各温泉施設の混雑状況を町のホームページやスマホでお知らせできないか。

答 システムを作るのに高額な費用がかかるので、町で検討してからということになる。現段階では、普段の混雑状況を紙ベースでお知らせするようにする。

新型コロナウイルス感染症に対する町の考えは

問 町長はじめ町職員が出張などで上京した場合、戻ってきてすぐ仕事になるのか。現在の状況を伺う。また、町民の不安を除くためにも、町で新型コロナのPCR検査あるいは抗原検査ができるようにすべきと思うが、町の考えは。

答 総務課長 町職員が上京し帰島したときは、14日間健康チェックを行っている。内容は、咳の有無、味覚臭覚の異常、検温（上京前後で1度以上変化無いか）、倦怠感の有無。帰島後はすぐ職務についている。PCR検査や抗原検査は、確定診断に使用することが主たる目的だ。

不安解消としてだが、新型コロナが発生したときは、八丈支庁・保健所・病院・町が連携している。初期段階は個人情報に配慮し、防災無線・ホームページで情報提供を行っている。検査など必要であると認識しているが、感染しない・させないということで、マスクの着用・手指の消毒・こまめな手洗い・三密の回避・こまめな換気の更なる徹底をお願いしたい。

八丈島建設業協会の役員会に出席し、ヒアリングを行いました。

日時 令和2年11月18日（水）
午後2時～

出席者 議長、副議長、総務文教委員会委員長、経済企業委員会副委員長、議会運営委員会委員長

質疑より

● 情報公開及び個人情報保護制度の実施状況について

山本忠志 議員 八丈島建設業協会の役員の方々が八丈町の公共工事の契約についての積算の算定基準に関する情報公開、請求に対して「八丈町はもうちょっと公開を進めてくれないか」という要望があった。

建設課長 町がどのように工事費を決めているかは、2つの方法がある。山本議員の言われたお話は国や都の積算基準に基づいてひとつひとつ工事内容を数量化して工事費を積み上げた工事価格の話になると思う。国や東京都の基準を使っている関係上、町は単価、または歩掛り等含めて、公開する権限がないという立場をとっている。そうは言ってもそういった要望は何年も前からあるので、他の島々の方々の意見も聞きながら、まずは建設局に問い合わせをして少しずつだが前に進めようとしているところ。

山本 議員 「入札で契約が取れたところは、その仕事を下請けに出すための基準となるし、しっかりしたものがほしいので、情報公開をお願いしたい」と建設協会の方々は大変困っていた。ぜひなんとか改革のメスをいれてやってもらいたい。

副町長 建設課は工事の分量は多いので、少しでも支庁など八丈町以外の所の単価を公開することができるようになれば。一歩ずつということでご理解いただきたい。

● コミュニティーセンター体育館に防災無線を



浅沼憲春 副議長 コミュニティーセンターの体育館の中に防災無線をつけていただくことはできないか。

教育課長 配線が可能であればできると思うので、調べて、つける方向で考えさせていただきたい。

● 農地の再生利用の補助対象は



廣江才 議員 個人所有の農地を開墾する場合は補助の対象にはならないのか。

産業観光課長 農地の再生利用で補助対象になるのは土地を借りる場合、また土地を購入して開墾する場合の二つの条件がある。自身の畑を開墾するから補助金がほしいといった場合にこの農地の再生利用は利用できない。

● 温泉施設の今後は

岩崎由美 議員 ザ・ブーンの高齢化が目立つとの住民の声がある。町の予算も厳しい状況の中で、温泉施設の現状および今後の方針は。

福祉健康課長 ザ・ブーンについては温泉施設安全点検業務委託を予定。温泉施設全体では年間約6,000万円の赤字で、ザ・ブーンの利用者は平成31年度で日平均70名で他の温泉施設に比べて少ない。サウナ利用についても、コロナ禍で厳しい現状がある。調査結果を待って、今後について検討していきたい。

沖山恵子 議員 中之郷にあの数の温泉が必要かとの意見もある。みはらしの湯も改修してほしいところがある。ザ・ブーンの再開予定について情報周知を。

福祉健康課長 計画的に温泉施設の管理、運営をしっかり考えていきたい。ザ・ブーンの今後については、調査結果を待って検討していきたい。

● 教育における島言葉

山下則子 議員 島ことば教育を大切にしたいが、島ことば教育の内容や課題は。

教育長 各学年ごとに年間3時間、各学校で工夫しながら行っている。方言のシャワーを浴びせ耳から覚えるというのが理想だが難しいこともある。喋ることのできる家庭は、まずは挨拶だけでも話してほしい。保護者も無理なく参加できるようにしていきたい。



特別支援学校生徒保護者

山下 君代さん

以前、島外の特別支援学校へ入学された生徒の保護者の山下君代さんにインタビューしました。

令和3年より、島しょ地域で初めて八丈町に特別支援学校高等部の分教室が設置されることになりとても良いことだと思っています。

1 設置理由

八丈町では、小・中学校の知的障害特別支援学級に在籍する児童・生徒の人数が、増加傾向にあります。

今後、継続して、知的障害のある生徒が中学校を卒業し、特別支援学校高等部へ進学することが見込まれます。

このため、八丈町に知的障害特別支援学校高等部の分教室を設置

2 分教室

(1) 名称
東京都立



詳しくは東京都HPへ

たことで、親子共々、たくさんの学びとかけがえのない経験をえました。入学してからは2週間ごとに迎えに行き、そのたびに、見違えるほどの進歩と自分から積極的にやりたいという気持ちの変化がみられ、日を追うごとに成長していく姿にとっても感動しました。子供の能力を引き伸ばす特別支援学校の先生方によるご指導の賜物だと思っています。大変感謝しています。

これから自分達がどうやって生きていくか、日々の学びを積み重ねながら社会に出るために精神的な自立を目指した学習が大切だと感じます。どうしても親子の関係が密になりすぎて手放せないという思いもありました。しかし、環境が大きく変わり、自分よりも重い障害をもった人たちをみてあげなくてはならない立場を経験できたことが、本人の心の成長に繋がったのです。今後、八丈高校の生徒さん達と共同学習を行うにあたり、特別支援学校の生徒さんの目線にあわせた学びを重視していただけたら幸いです。そして島内だけでなく、島外の特別支援学校とも広く交流を深めることができるように、更なる学びの充実を願っています。

(宮崎陽子)

戦争体験者

沖山 操さん (85歳)

昨年、太平洋戦争終戦後75年の節目に、戦争体験者である操さんの記事が新聞に掲載されました。今回改めてお話を伺いました。

小学校3年生の時、兵隊さんが小学校を使用するので、私達のクラスはホテル水路近くのお宅に机や椅子を持ち込んで勉強しました。通学途中、アビやサクラノボなどを摘んで食べたりしました。富士中学校方面に行くときは、飛行場を作りに来ていた朝鮮の人を見かけたりしました。やがて、我が家に兵隊さんが入るので、祖父母は今の火葬場のあたりに仮住まいし、兄も軍属で中之郷へ、残りの家族は軽井沢へ疎開しました。



後年、中学の担任だった山田平右衛門先生と共に、島の中の戦争体験談を取材しました。町がもっと早く取り組むべきことだったと思います。きっと私の世代が戦争を語っていきける最後の年齢でしょう。せめて多くの方が訪れる場所に、先生の戦争体験談の本を置いて欲しいと願っています。

操さんの記事には、次の日に特攻隊で出撃するであろう若者や、須永さんという逆上がりを教えてくださいました。記事を読んだ軽井沢町100周年の関係者から連絡があり、資料を送ったとのこと。須永さんにゆかりがある方が記事を見てくれたらと考えていたので、たとえ須永さんとは無縁だとしても、積年の胸のつかえが降りてホッとしたと語られていました。「戦争は絶対ダメ！という気持ちを持って欲しい。次の世代には、絶対に戦争は体験させたくないもの。」との言葉が、私の胸に突き刺さりました。

(山下則子)

[あしがき]

新型コロナウイルスが世界構造を根底から揺るがし、約220年ぶりに「土の時代から風の時代へ」。会社や組織、学歴やブランド、物質や資産などが力を持つ「土の時代」から、世界はオリジナリティ、センス、情報、波長など「流れているもの」や「目にみえないもの」が重視される「風

の時代」へと移行しています。新しい時代の新しい価値観に対応することを私たちは否応なしに求められている今、古くなった価値観をリセットし、新しい時代の風に乗るにはどうしたらいいのか。新たな風の時代を生き抜いていく術が問われています。

(宮崎陽子)

発行人 八丈町議会議員 奥山幸子

編集 議会だより編集委員会 委員長 岩崎由美 委員 宮崎陽子 山下則子 沖山恵子

〒100-1498 東京都八丈島八丈町大賀郷 2551-2

tel 04996-2-2788 fax 04996-2-4437 メール gikai@town.hachijo.tokyo.jp

